

牧草園藝



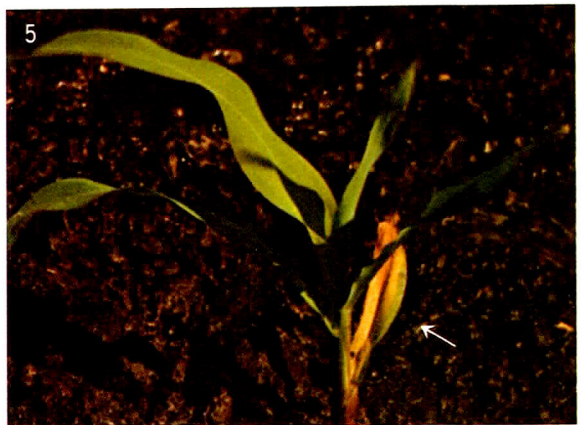
F₁とうもろこしの発芽・初期生育障害



左端：正常



左端：正常



1.2.4 土壌菌(主としてPythium菌)による発芽・初期生育障害

- ・菌に犯された種子は発芽不能、幼苗は萎縮・壊死する。
- ・低温(10℃前後)・多湿条件で多発する。
- ・罹病箇所(茎と根の付け根)は褐変する。
- ・種子殺菌剤(キャプタン、チウラム)を種子粉衣し、予防する。

3. 低温障害

- ・葉身が紫色に変色する。

5. 過剰水分

- ・下位葉が黄変化、枯死する。

6. 覆土が厚すぎて深植による障害